

やつしろ市議会だより

平成24年12月定例会



▲イグサの植えつけ

主な記事

- ◎12月定例会の流れ……………2
- ◎各常任委員会報告……………3
- ◎小菌純一議員逝去……………4
- ◎決算審査特別委員会報告……………5
- ◎質疑・一般質問（20人が登壇）……………7
- ◎12月定例会採決結果一覧……………14～15
- ◎政務調査費（収支報告書等）のホームページ公開について…16
- ◎議会からのお知らせ……………16
- ◎編集後記……………16

第30号

平成25年2月1日発行

編集・文責
八代市議会
広報委員会

☎0965-32-5984
(市議会事務局)

12月定例会の流れ（会期23日間）

月 日	会議名	内 容
11月26日（月）	本会議（提案理由）	<ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会委員長より議会改革に関する中間報告 決算審査特別委員会委員長より平成23年度各会計決算議案12件について審議結果報告後、採決 市長より平成24年度一般会計補正予算を含む議案17件が提案
12月 3日（月）	本会議（質疑・一般質問）	<ul style="list-style-type: none"> 20人が登壇し、議案及び市政について質疑・一般質問 6日（木）に市長より、1件の追加提案 各議案を関係常任委員会に付託
4日（火）	//	
5日（水）	//	
6日（木）	//	
10日（月）	文教福祉委員会	<ul style="list-style-type: none"> 付託議案を各常任委員会で審査（継続審査となっている請願陳情含む）
11日（火）	経済企業委員会	
12日（水）	建設環境委員会	
13日（木）	総務委員会	
18日（火）	本会議（討論・採決）	<ul style="list-style-type: none"> 各常任委員会委員長より審議結果報告後、採決 市長より、人事案件1件が追加提案され、採決 発議案第5号・6号・7号が提案され、採決 <p>※各議案の審議結果については、14・15ページを御参照ください。</p>

平成24年度一般会計補正予算

3億8351万2000円

○子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例事業 7034万5000円

平成23年3月から導入した子宮頸がんワクチン等予防接種（任意接種）において、医療機関での接種勧奨やマスコミ等のPRの効果により認知度が向上し、接種者数が当初見込みから大幅に増加したため、補正を行うもの。

○農業体質強化基盤整備促進事業 3億3053万円

国の緊急経済対策である「経済危機対応・地域活性化予備費」を活用した農業体質強化基盤整備促進事業に対し補助するもので、県の内示に伴い補正するもの。

（国支出金
3億2891万5000円）

○東陽地区学校統合関連経費 101万5000円

平成25年4月の東陽地区小学校統合に向けた事前準備にかかる経費、及び現種山小学校が統合校となるが、校名を変更するため、それに伴う関連経費を補正するもの。

議案・発議案など34件を議決

など

委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、十二月十八日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

建設環境委員会

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第八号・環境保全対策事業について

問 九州新幹線のダイヤ改正に伴い、沿線に騒音・振動問題が発生しているが、その騒音・振動測定に係る今後の計画について

答 まずは機器購入後に予備調査を行い、その後、市政協力員の理解を得ながら、住民と情報交換を行う中で、地元の意見を踏まえて、具体的な測定箇所や調査方法を決定して、新年度の委託による本格調査につなげていきたい。

意見 沿線の方々の思いが十分反映されるよう対応願う。

その他の主な質疑

- 調査体制における本市の考えについて
- 測定データ管理用ソフト購入の必要性について

経済企業委員会

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第八号・八代市コンテナ利用等補助金

問 本補助金には、コンテナ航路誘致助成金も含まれているが、本助成金の対象先と経済効果について

答 現在、八代港には、韓国の釜山航路二便が就航しているが、この航路の増便を図った後、今後新たに航路を新設された場合、船を運行する船会社に対して助成するものである。経済効果としては、増便や航路新設によって、荷役作業をする港運業者の雇用拡大のほか、早くて安い物流を生み出すことで、企業の競争力が増すといった効果があると考えている。

問 八代港利用に対する優遇措置は、他港と比較してどうか

答 今年度からコンテナのみならず、寄港についても助成するなど、他港と比べても遜色のないものとなっており、その結果、利用実績等においても増加傾向にある。

意見 本市の港利用に対する優遇措置については賛成であり、継続してもらいたい。加えて、今後は、大型ガントリークレーンの設置に向けて、県に強く要望を行っていただきたい。

その他の主な質疑

- 農業体質強化基盤整備促進事業の具体的な内容と効果について
- 緊急雇用創出基金事業の事業選定の経緯について



文教福祉委員会

◆議案第三百十号・八代市新型コロナウイルスエン
ザ等対策本部条例の制定について

問 これまでも対策本部は設置してきた経緯があるのに、あえて条例で定める必要があるのか

答 平成二十一年度の新型コロナウイルス大流行の際に、各自治体で対応にばらつきが見られたため、法律によって、条例による対策本部の設置を定めるもので、あわせて、強制的行為に法的根拠を持たせるものである。

問 これまで感染者への対処方法として行っていた接触制限や病院での隔離処置などは、法的な強制力はなかったのか

答 平成二十一年度に国が対策指針として定めたものは法律のレベルではなかった。当時の反省点を踏まえ、今回は、法的根拠を明確にするものである。

その他の主な質疑

○対策本部の設置基準について
○子宮頸がん等ワクチン予防接種の対象範囲
及び広報啓発の方法について

総務委員会

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・
第八号・人件費補正について

問 市職員の現時点での休職者数について

答 十二月一日現在で、休職者は十名である。

問 休職者に対するフォローアップについて

答 問題となるのはメンタル的な疾患による休職者と思われるが、個々に、その原因や症状などが異なり、一律に取り扱うことはできない。そこで、休職中から、本人や家族と連絡をとるとともに、症状が回復して、復職が近くなった時点で、専門のカウンセラーとの面談や本年度から委託しているメンタル専門の産業医の診断を通して、復職へ向けた相談・支援を行っている。実際に主治医から復職可能と判断された場合には、少しずつ出勤時間を延ばすなど、体を慣らしていくながら、復職に向けた取り組みを実施するとともに、再発防止を図っているところである。

その他の主な質疑

○債務負担行為補正における平成二十四年度
大水害対策資金に関する利子補給の該当者
数と周知方法について



小園純一議員逝去

小園純一議員が、去る平成二十五年一月十一日に逝去されました。享年六十六歳。

故小園純一議員は、昭和六十二年の初当選以来、議長を初め、各常任委員会委員長、各特別委員会委員長などを歴任し、約二十五年間幅広く市政の発展に貢献され、精力的に本市市議会議員として活動されました。

ここに謹んで御冥福をお祈りいたします。



平成23年度 一般会計・特別会計決算を認定!!

平成24年11月26日、12月定例会開会日において、決算審査特別委員会委員長より委員会（延べ5日間）での審査結果の報告があり、一般会計及び各特別会計決算の12件が認定されました。ここでは、その委員長報告を抜粋して掲載いたします。

一般会計

歳入 552億4075万6937円
歳出 533億2747万7651円

特別会計 (11会計)

歳入 372億8104万3094円
歳出 370億5810万6466円

一般会計

【歳入】

問 保育料の過年度分滞納額の推移とその徴収対策について

答 保育料の過年度分の滞納額については、平成二十一年度決算では三千五百八十二万一千円、平成二十二年決算では三千四百五十一万円、平成二十三年決算では三千四百九十九円となっており、縮減傾向にある。また、徴収対策としては、平成二十三年十月の子ども手当支給から、受け取り方法を口座振り込みから窓口支給に変更したところ、平成二十三年十月支給では十三件、四十六万七千円、平成二十四年二月支給では十三件、二十六万八千三百二十円、同年六月支給では十一件、三十万五千円が窓口で納付された。特別措置法の施行に伴い、平成二十三年十月から、現年度分の保育料については、子ども手当から特別徴収をすることができるとされ、滞納を極力減らすためにも、本年度から本市でも取り組みたいと考えている。ただし、過年度分については本人の同意が必要であり、現在、滞納相談の際に、同意書を書いてもらうようお願いしているところである。

その他の主な質疑

○住宅新築資金等貸付金元利収入の収入未済額の内容について

【歳出】

◆ごみ減量化対策事業について

問 焼却炉の延命化を図るため、平成二十三年度から積極的に取り組まれているプラスチック類分別回収の効果について

答 プラスチック類の分別回収については、昨年度は十校区で、本年度は昭和・代陽校区で実施し、今後、太田郷・高田・宮地東校区へと順次収集範囲を広げていく予定であり、平成二十二年には九十三トン資源化したのに対して、平成二十三年度は、若干他品目が含まれるものの百五十二トンとなっており、焼却炉に投入する量は減少してきている。なお、本年二月に排出ごみの組成調査を行ったところ、ほぼ油のようなものである高分子凝集シートを原料とする紙おむつの廃棄物が一〇%近く増加しており、乳幼児は減少しているものの、福祉施設などは今後もふえていくと予想されることから、今後はそれらに対する取り組みが必要になるものと考えている。

その他の主な質疑

○八代ブランド戦略関係経費に係る契約の相手方と随意契約の理由について

特別会計

◆八代市国民健康保険特別会計決算 《歳入・歳出》

問 多額の収入未済額に対する解決方法について

答 未収入額は現年度分が二億四千七百八十七万円と、滞納繰越分が九億円余りであり、合計十一億四千九百万円であるが、基本的には、納付能力がある方からはきちんといただくこと、納付能力がない方については早期に滞納処分執行停止をかける形で進めている。できるだけ早期の滞納整理ということ、延滞金等がつかないうちに、預貯金、給与、年金の調査等に取り組んでいる。

その他の主な質疑

- 退職者世代に見られる疾患の分析と退職者医療費縮減に向けた分析について
- ジェネリック医薬品使用による医療費の縮減とその効果について
- 国保の現状や特定健診に対する市民への周知活動について

◆八代市介護保険特別会計決算 《歳入・歳出》

問 介護予防や包括的サービスなどの事業に対する参加者の評価や、効果について

答 介護予防事業の一つと位置づけているいきいきサロン事業については社会福祉協議会に委託しており、市内二百二十カ所、年間延べ四万八千人ほどの参加がされており、閉じこもり防止や、話し合いの場の提供などに貢献しており、楽しんで参加されている。また、高齢者筋力アップ体操普及事業は、市内十八カ所で展開しており、体操普及教室事業の卒業時に行う、参加者の体力テストの結果を検証すると、ほとんどの方の運動機能改善に寄与している。平成二十四年度からは、地域包括支援センターに委託し、活動拠点をふやす予定にしている。この二つの事業については、介護予防の観点から、本市が重点的に行っている事業である。

その他の主な質疑

- 在宅介護と施設介護のサービス形態の差異について
- 要介護申請と認定方法について



総括

○地域住民の心をつかみ、地域の実情に合った施策を行うためには、地域の中に入り、アンテナを張って、地域を理解することが必要である。市民の要望に可能な限り沿えるよう事業内容を組み、来年度の予算編成に反映していただきたい。

○生活排水の処理方式など合併協議会において十分調整できなかった事項で、合併から七年が経過した現在でも調整が進んでいないものについては、本市の企画戦略上の問題もあることから、担当部だけでなく、全庁的に検討していただきたい。

○一般会計の実質収支額は約十七億円の赤字となっており、財政調整基金に積み立てる方法もあるかもしれないが、合併に対する不満を解消するためにも、もう少し市民サービスの向上のために、活用していただきたい。

○これまで学校の耐震化事業を優先してきた関係で、観光施設を初めとした公共施設の老朽化対策が非常におくれているので、それらの整備計画を早急に策定し、執行していただきたい。

○各種事業の効果については、常に内部評価を実施し、その進捗状況や方向性・必要性を検証するとともに、事業の手法についても創意工夫を加えながら取り組んでいきたい。

質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、12月3日から6日までの4日間、20人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

行政関連



田中 茂

質問通告

○本市財政と地方交付税について
○八代市行政評価外部評価委員会について

◆本市財政と地方交付税について

問 合併後、例年問題なく国から年間約百八十億円程度交付されてきた地方交付税が、本年度は秋から国の関連法案の成立不透明もあり、一部支払い延期が懸念された。

そこで、地方交付税の内容と支払い延期に対する対策。及びその影響はどうであったか。合併後十年間の優遇策。優遇策が切れた後の地方交付税はどうなるのか伺う。

答

総務部長 地方交付税は、各地方公共団

体の財政需要に即して配分され、地方公共団体の財源保障と財源調整機能を有している。今回の支払い延期対策は、従来からの指定金融機関との契約により、資金に不足が生じた場合でも自動的に融資が受けられるよう準備していたが、結果として資金不足とならず影響はなかった。

合併後十年間の優遇策は、その後五年間で段階的に縮減され、平成三十三年以降は、現在より約三十五億円が削減され、より厳しい財政運営が想定される。



矢本 善彦

質問通告

○本市の文化財保護について
○博物館の運営について

◆本市の文化財保護について

問 植柳小学校旧講堂は、大正十四年に建築された鉄筋コンクリートづくりの建物で、外観はギリシヤのパルテノン神殿を思わせ、小学校の講堂として、また地域の公会堂として使用されてきた。校舎改築事業の際、解体の危機があったが建物の文化財的価値から、平成三年に市の文化財指定を受け現在に至っている。今後の保存・整備について市の考えを問う。

答

市民協働部長 平成三年の市文化財指定

以来これまで、窓・外壁補修・雨漏り防水改修工事を行ってきた。平成十九年度に行った耐震診断では、極めて危険な状態にあり、保存活用のためには大規模な補強工事を行う必要があるとの診断がなされた。そこで、周囲に柵を設け、児童等の安全確保を図ってきた。当面は現状維持による保存に努め、本格的な整備保存は、耐震補強を含め多額の費用がかかることなどを考慮の上、今後どう対応していくべきか、方向性を検討したい



上村 哲三

質問通告

- 本市の防災対策について
- 八代市メガソーラー設置運営事業者企画提案募集について
- 荒瀬ダム撤去に伴う代替橋建設について

◆荒瀬ダム撤去に伴う代替橋建設について

問 ダム代替橋の建設については、市全体の要望と認識しているが、第五回地域対策協議会以降、代替橋建設について何か進展はあったか、また、この問題で市の認識について問う。九月から工事が始まり堰堤の通行は不能となり、地元では「不便だ」「代替橋は必要」との声が日増しに大きくなっている。そこで、代替橋建設に対する市長の姿勢を問う。

答 市長・企画戦略部長 第五回地域対策協議会后、代替橋について企業局からの相談や提案は受けていない。この課題は、八代市から県へ提出した要望項目の一つの柱と位置づけられており、市としても大変重要であると認識しているため、「県として代替橋の整備はできない。」という、県の報告を理解することはできない。県は地域住民に納得してもらえないような案を早急に出すべきと考えている。これからも、県に責任を果たしてもらおうように、地域とともに取り組んでいく。



亀田 英雄

質問通告

- 八代市の防災について
- 住民自治について
- 林業の活性化について
- バス路線の見直しについて
- 平成二十五年度予算の編成について

◆平成二十五年度予算の編成について

問 どのような方針を持って平成二十五年度の予算編成に臨まれるのか伺う。議会からの政策提言、一般質問、決算審査特別委員会での指摘・意見・総括、部長総括等、予算に反映させていくものはさまざまにあるが、どのように取り扱われるのか伺う。また、予算の枠配分についてどのように考えているのか伺う。

答 総務部長 本市では、中長期的視点での身の丈に合った市民サービス基盤を次世代に引き継ぎ、堅実な行財政運営を念頭にした予算編成方針としている。決算委員会等の指摘は、行政課題への貴重な提言と認識し予算編成に反映できるように努めている。また、予算の枠配分として、現在、経常経費の一部について取り組んでいる。今後、他市の先進事例も参考にし、その具体的な仕組みづくりについて十分検討し、より効率的・効果的な新たな予算編成ができるよう努めていきたい。



友枝 和明

質問通告

- 八代港の利用状況について
- 九州国際スリーデーマーチについて
- 八代市婚活支援事業について
- 厚生会館、千丁文化センター、鏡文化センターの自主文化事業について

◆厚生会館、千丁文化センター、鏡文化センターの自主文化事業について

問 本市には、厚生会館初め立派な設備が整った文化センターがある。毎年いるんなジャンルのライブ、コンサートが開催されている。そのほかにもどのような事業がなされ、入場者数はどれだけあるのか。また、今後の取り組みはどのように考えているのか伺う。

答 市民協働部長 厚生会館と鏡、千丁の両文化センターは、地域の文化活動の拠点としての役割を果たし、施設の特徴を生かしながら自主文化事業を実施している。平成二十三年度は八千七百七十一人の方が利用し、本年度は、入場料有料公演を六公演、無料公演を八公演実施している。今後は、運営審議会答申を踏まえ、市民に主体的に参加いただけるあり方などの方向性を検討することとしている。なお今年度から、三施設とも月曜休館日を廃止し、開館日の充実を図っている。



百田 隆

質問通告
 ○ 仮称・日奈久温泉本湯前駅の開設について
 ○ 国道三号日奈久塩南地区の交通安全対策について
 ○ 日奈久中心街の消火体制について

◆日奈久中心街の消火体制について

問 昨年の三・一一東日本大震災を受けて本市においても官民挙げて防災に取り組んでいるが日奈久中心部においては、自主防災組織率が本市の平均以下であり、大震災の教訓を生かすためにも早急に組織率を向上させる必要がある。本市には布田川・日奈久断層が走っていることからなおさらである。本市の対策を問う。

答 **市民協働部長** 日奈久中心街は、旅館や住宅等が密集していることや背後地が狭いという特徴がある。そのため、住民の防災意識は高く、十一月に開催した総合防災訓練の参加状況にもよくあらわれている。また、日奈久中心街は道路が狭いことから、初期消火で使用するホース等格納箱の設置が進んでいない状況である。今後、地元とも十分に話し合い広域消防、地元消防団とも連携し「災害に強いまちづくり」を目指し、地域としての防災力の向上に努めたい。



鈴木田 幸一

質問通告
 ○ 職員削減に伴う諸問題について
 ○ 守秘義務について
 ○ 有佐駅前防犯灯（街路灯）について

◆有佐駅前防犯灯（街路灯）について

問 八代地域の経済力の低下は、小さな地区にとつての事業活動の負担になっている。有佐駅前周辺の防犯灯（街路灯）は少なく、自転車盗難発生等の犯罪の多発化を招いている。しかし、駅前周辺の開発計画はない。八代市の北の玄関としての役割を持ちながら防犯灯の電気料金の支払いも厳しい駅前地区に対して、市の今後の対策と開発計画の有無を問う。

答 **市民協働部長・建設部長・市長** 市では、犯罪の防止及び安全確保のため、町内会等が設置する防犯灯に対し補助制度を設けて補助を行っており、その維持管理は町内が行っている。有佐駅前の通りで街路灯の設置基準に合致すると判断される既存の水銀灯一力所については街路灯として引き継ぐことは可能である。有佐駅前の開発については、国や県の補助金で活用してできる事業はないか、企画や商工、建設の部局等含めて、また、地元議員と一緒に検討していきたい。



堀口 晃

質問通告
 ○ 県南の拠点づくりについて
 ○ 松中信彦スポーツミュージアムについて
 ○ 日奈久分署移転計画に伴う防災体制について

◆県南の拠点づくりについて

問 本市が目指す県南の拠点づくりの実現のためには、交通の要衝である立地を生かした農林水産業の活性化と企業誘致や地場産業の育成を図り、若者が働くことのできる雇用創出の環境づくりを行っていく必要がある。そこで、熊本県が進める県南地域活性化の起爆剤として提唱している「フードバレー構想」とはどんな構想で、どのような事業か問う。

答 **企画戦略部長** フードバレー構想は、県が策定した「政令市誕生後の県内各地域の将来像」において食品関連産業を中心とした企業、研究施設等の誘致や地場企業の振興により集積を図るとされ、知事のマニフェストでは、県南地域活性化の起爆剤と掲げられた構想である。国内の先行事例でもこのような取り組みがなされており、食品関連の研究施設や産業の集積、地場企業の振興はもとより、流通分野や商品の販路拡大等を図り、地域活性化に寄与する構想と期待している。



野崎 伸也

質問通告

- 緑の回廊線の安全対策について
- メディカルツーリズム(医療観光)について
- 市有温泉施設における木質バイオマスボイラー導入について

◆市有温泉施設における木質バイオマスボイラー導入について

問 市有温泉施設クレオンに木質ペレットボイラーを導入すると聞いている。しかし、燃料のペレット製造業者は市外にしかなく、燃料の間伐材等も市外品と聞く。本市の林業活性化や地域経済への波及効果を考えれば、市内の間伐材を使うチップボイラーが有益であり、燃料単価も安いことから温泉施設の経営にも寄与すると思う。再考の考えはないか伺う。

答 農林水産部長

チップボイラーは本体価格が高く、中に燃料貯蔵用の大きなサイロ設置が一般的で事業費が高くなる。しかし、チップのほうがペレットより燃料の単価が安い。そのため、燃料費は少なくて済む。また、材質の特性から、チップボイラーは一度運転を始めたら二十四時間以上の長時間運転が望ましい。そのほか設置場所、施設の利用状況、施設全体の管理など総合的に判断して、現在ではペレットボイラーが妥当であると考えますが、さらに比較検討を行い選定する。



前垣 信三

質問通告

- 新年度予算編成について
- ごみ減量化について
- 職員採用について
- 空き家対策について

◆新年度予算編成について

問 九月議会で質問した松井神社、松浜軒周辺整備の再確認で、新年度予算に反映されるものかを問う。京都府下で展開される「ガラシャ夫人を大河ドラマに」の運動が実現すれば、夫人の御位牌を安置している春光寺を全国に知らしめ、夫君細川忠興公が晩年を過ごした北の丸を含む松井神社、松浜軒一帯の環境整備のためのプロジェクト構想の有無を問う。

答 市長

松井神社、松浜軒、八代城一帯は、八代を代表する文化財であり、最も大きな観光資源の一つであると考えている。この八代の宝を適切に保存し、歴史が見えるまちづくりを進め、観光資源としても生かすことができるよう、積極的に取り組まなければならぬと認識している。これを進めるには、市として、全庁的な関係部署が連携をして取り組む必要がある。八代城跡を中心とする歴史・文化ゾーン再生プロジェクトの立ち上げを検討していきたいと考えている。



田中 安

質問通告

- 八代港の発展について
- 中心市街地の今後の動向について

◆中心市街地の今後の動向について

問 今議会で指定管理者として、八代市がらっぱ広場を管理運営しようとする「まちなか活性化協議会」の組織構成・施策方針の展望と実績を伺う。また、中心市街地はパチンコ店の撤退と解体で吹きさらしとなっている。そこで、中心市街地に対しての行政と民間の考え方を伺う。

答 商工観光部長

まちなか活性化協議会は、本町一・二・三丁目と通町の四商店街振興組合で構成された組織で、中心商店街の活性化と地域コミュニティの確立により、地域振興を図るため、自主的に各種事業に取り組んでいる。パチンコ店撤退後の跡地については、八代商工会議所の「まち活性化委員会」において検討されているが、市も活性化に大きく影響する重要な課題と認識し、「まちなか再生庁内プロジェクトチーム」を立ち上げ、検討体制を整えたところである。

福祉関連



大倉 裕一

質問通告

○教育行政に臨む教育長の考え方について
○八代港の振興について
○市内排水機場の運転管理について

◆八代港の振興について

問 八代港の振興を図ることが、地域経済を成長させ、ひいては雇用拡大につながると考える。今後の振興に対する戦略を伺う。また、安くて早い航路の就航については、貨物船が大型化しているため、ガントリークレーンを現在の八列から大型船に対応できる十三列対応へ施設拡充が必要不可欠と考える。港湾管理者である県への整備要望について考えを伺う。

答

商工観光部長 本年十月末現在の実入りコンテナ取扱数は前年比三割増で、官民一体となったポートセールスの成果と分析している。さらに取扱量を伸ばすため、早くて安い中国等との直行便の開設に向け、積極的に取り組んでいく。今後、想定される船舶の大型化への対応については、フルガントリークレーンの整備が必要不可欠と認識しており、県産木材や食品等のアジアへの輸出拡大のためにも、フルガントリークレーンの整備がいかに有用であるかを県に訴えていく。



太田 広則

質問通告

○命のボランティア・ドナー助成制度の導入について
○リース方式による公共施設へのLED照明の導入について
○福祉用具購入費・住宅改修費の委任払い制度の導入について

◆命のボランティア・ドナー助成制度の導入にCSN

問 せっかく骨髄バンクに登録し、移植希望者と骨髄が適合したとしても、提供までに至らない場合が四割ある。その理由に提供者(ドナー)の休業補償がないなどの負担が重いとされる。本市がいち早くドナー助成制度を立ち上げ、この費用を補助することにより提供に至るケースがふえ、より多くの方のとうとい命が救われることになるが、その考えを伺う。

答

健康福祉部長 骨髄移植を行うためには多くのドナーが必要。本市でも、献血での勸奨や広報紙等でドナー登録の呼びかけを行う。一方、骨髄提供の際には、検査のための通院や数日間の入院を要する。手術費用や入院費用等について、ドナーの負担はないが、入院中の休業補償や子どもの保育経費等の補償がなく、骨髄提供への障壁の一因と言われている。県外の幾つかの自治体でドナー支援の助成制度を行っている先行事例もあるので、これらを参考にしながら検討していく。

質問通告

○国民健康保険税の軽減策について



小園 純一

◆国民健康保険税の軽減策について

問 数年来の経済不況の中で、本市の国民健康保険税は、県内最高の十四億円強の基金がある。その基金を利用して、市民の重税感を払拭し、税の負担感を緩和することができな
か、市長の考えを伺う。

答

市長 昨年の十二月議会で、議員から同じ御提案をいただき、市民の税の負担感が増している現状から、前向きに考えたいと答弁した。ことし三月議会では、平成二十四年度の当初予算に国保税の減税案を提案したが否決された。しかし、この一年間、市民の税の負担感は、解消されるどころか、5%の消費税率が一〇%に上がる法案が国会で可決されるなど、市民の重税感が増すばかり。そういった状況を踏まえると、今一度、考えてみる必要があるかもしれない。





笹本 サエ子

- 質問通告**
- 国民健康保険税の引き下げについて
 - 子供の医療費助成問題について
 - 住宅リフォーム制度について
 - 九州新幹線騒音・振動問題について

◆ 子供の医療費助成問題について

問 子供の医療費助成事業で、窓口無料化は大変好評であり、評価できる。一方支給対象年齢は就学前までと県下市町村の中で最も低い状況にある。四月以降八つの自治体が対象年齢引き上げを実施しており、高三が二自治体、以下、中三が二十一、小六が十三、小三が六自治体となっている。対象年齢引き上げについて市長の思いを伺う。

答 市長 対象年齢の引き上げについては、実現に向け、考えたい。



西濱 和博

- 質問通告**
- 新学習指導要領の全面実施による教育課程（カリキュラム）の変更と土曜日登校の活用について
 - 子ども・子育て関連法の本格施行を見据えての放課後児童クラブの今後のあり方について

◆ 子ども・子育て関連法の本格施行を見据えての放課後児童クラブの今後のあり方について

問 本市は放課後児童クラブの実施主体という立場を堅持している以上、委託先である保護者会などの運営に対し責任ある関与が不可欠。そこで、次の提案をする。①法令に基づかない不十分な県補助に対する改善要望。②小規模クラブに対し特別交付金を活用した財政支援策の創設。③貧困家庭に対する市独自の利用料の減免・免除制度の導入について伺う。

答 健康福祉部長 ①利用児童数に関係なく必要な最低限の運営費が確保されるよう、県補助制度の改善要望を行う。②市が単独事業として実施する十人未満の小規模児童クラブに対し、特別交付税を活用できないか、運営の可能性等を含め、総合的に検討を行ってまいりたい。③県の示す減免制度の改善を要望するとともに、貧困家庭に対し、利用料の減免を実施している県内他市の事例を参考に検討していく。



中村 和美

- 質問通告**
- 教育長就任に当たつての教育方針について
 - 市における建設業者のランク変更について
 - コスタビクトリア号の寄港による経済効果について

◆ 市における建設業者のランク変更について

問 先月、建設業者のランク変更についての説明会があったと聞いている。現在、市内の業者の声を聞くと、仕事が少なく困っていると聞く。また、若者が八代に残ることが、市の活力にもなる。このことから、地元業者発展が市発展になると本議員は考えるが、ランクの変更の内容が市内業者のためになるのか伺う。

答 総務部長 建設工事量の縮小の中、ランク間の発注バランス確保のため、土木工事について、ランクごとの過去の発注量や今後の発注見込みを勘案して、平成二十五年度から発注標準（ランクごとの発注金額）を変更するとともに、C及びDランクにおいて重複選定を導入する。また、発注標準の変更に伴い、一般競争入札の対象となる工事を三千万円以上から二千五百万円以上に拡大する。発注バランスを確保することにより、市内の建設業者の受注機会の確保と育成が図られる。



庄野 末藏

○市道永碓町三楽町線の歩道整備について
○古民家の保存について

◆市道永碓町三楽町線の歩道整備について

問 市道永碓町三楽町線の区間は、交通量も多く、歩道も狭く、自転車や歩道を走ることがあり、危険な箇所と思うが、この区間の整備計画を問う。また、旧山下酒店前交差点付近に横断歩道があるが、子供たちのことを考えた交通安全対策は今後どのようなものか問う。

答 **建設部長** 市道永碓町三楽町線の歩道整備については平成二十三年度に事業に着手し、平成二十五年年度の完了を目指し事業を進めている。整備概要については延長約三百五十メートル、歩道幅員を約一・五メートルから二・五メートルに拡幅する計画である。旧山下酒屋交差点の交通安全対策については通学路マーク等の路面表示を設置し、車両に対し注意喚起を促している。



松永 純一

○平成二十三年年度決算について
○公の施設の民営化と指定管理者について
○小規模校の統廃合について
○乗合タクシー運行事業の見直しと実績について

◆小規模校の統廃合について

問 泉第一・第二・第三小学校は、平成二十六年四月一日統合され、泉中学校に小中一貫校として、新設されることになっている。このため「泉地区学校統合準備委員会」が設置され、これまで三回会議が行われ順調に進捗していると思う。施設一体型小中一貫校に対する安全対策について、平成二十五年年度どのような施策を講じられるのか問う。

答 **教育部長** 地元説明会において保護者の方々、地元の方々が御意見をいただいた。校舎と運動場敷地の高低差が大きく、市道も通っているという御心配の点は、運動場脇を通り階段で上がるルートを設置し、階段の段差も安全面に配慮する。校舎周辺の崖部分で小学生には危険と考えられる場所には、フェンスを設置する。小学校低学年生用プールの設置要望については、深さ調整用の台を設置し、小学校低学年の児童でも安全に使用できるよう対策を講じたい。



幸村 香代子

○教育長就任に当たって
○海外からの観光客誘致について
○八代市男女共同参画計画の達成状況について
○環境センター建設について

◆教育長就任に当たって

問 本年十月に就任をされた、広崎教育長は、県庁職員時代、また現在も、男女共同参画の推進に積極的にかかわっていると認識をしている。今回、その経験を教育行政にどのように反映させたいと考えているか問う。

答 **教育長** 教育の意義は、社会人として生きていく上で必要な素養を身につけることにあると考える。男女共同参画活動にかかわり、学校教育が意識の変容に影響を与えることを実感した。学校教育行政の一翼を担う立場をいただき、改めて人権教育、男女共同参画意識の醸成に力を注いでいきたい。人権同和教育には、管理職のリーダーシップが必要であり、今後研修の充実や参加体制の整備に努める。男女混合名簿、デートDV防止教育についても取り組みへの加速を促す。



平成24年12月定例会採決結果

議案番号	審議結果	1	2	3
		古嶋津義	増田一喜	松浦輝幸
◆決算◆(12件)				
議案第 99号・平成23年度八代市一般会計決算	全	○	○	○
議案第100号・平成23年度八代市国民健康保険特別会計決算	全	○	○	○
議案第101号・平成23年度八代市後期高齢者医療特別会計決算	全	○	○	○
議案第102号・平成23年度八代市介護保険特別会計決算	全	○	○	○
議案第103号・平成23年度八代市公共下水道事業特別会計決算	全	○	○	○
議案第104号・平成23年度八代市簡易水道事業特別会計決算	全	○	○	○
議案第105号・平成23年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計決算	全	○	○	○
議案第106号・平成23年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算	全	○	○	○
議案第107号・平成23年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計決算	全	○	○	○
議案第108号・平成23年度八代市診療所特別会計決算	全	○	○	○
議案第109号・平成23年度八代市久連子財産区特別会計決算	全	○	○	○
議案第110号・平成23年度八代市椎原財産区特別会計決算	全	○	○	○
◆予算◆(5件)				
議案第115号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第8号	全	○	○	○
議案第116号・平成24年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第1号	全	○	○	○
議案第117号・平成24年度八代市介護保険特別会計補正予算・第2号	全	○	○	○
議案第118号・平成24年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算・第1号	全	○	○	○
議案第119号・平成24年度八代市水道事業会計補正予算・第1号	全	○	○	○
◆事件◆(7件)				
議案第120号・専決処分の報告及びその承認について (平成24年度八代市一般会計補正予算・第7号)	全	○	○	○
議案第121号・財産の無償譲渡について	全	○	○	○
議案第122号・八代市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について	全	○	○	○
議案第123号・指定管理者の指定について(八代市勤労福祉会館)	全	○	○	○
議案第124号・指定管理者の指定について(八代市がらっぱ広場)	全	○	○	○
議案第125号・指定管理者の指定について(八代市松中信彦スポーツミュージアム)	全	○	○	○
議案第132号・契約の変更について(南川大橋下部工(P5)受託工事)	全	○	○	○
◆条例◆(6件)				
議案第126号・八代市市税条例の一部改正について	全	○	○	○
議案第127号・八代市手数料条例の一部改正について	全	○	○	○
議案第128号・八代市暴力団排除条例の一部改正について	全	○	○	○
議案第129号・八代市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について	全	○	○	○
議案第130号・八代市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	全	○	○	○
議案第131号・国民健康保険八代市立病院条例の一部改正について	全	○	○	○
◆人事◆(1件)				
議案第133号・人権擁護委員候補者の推薦について(伊藤公明氏)	全	○	○	○
◆発議案◆(3件)				
発議案第5号・八代市議会会議規則の一部を改正する規則案	多	○	○	○
発議案第6号・八代市議会委員会条例の一部を改正する条例案	全	○	○	○
発議案第7号・八代市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案	多	○	○	○

政務調査費(収支報告書等)の閲覧がホームページでできるようになりました!!

平成25年2月より政務調査費に係る収支報告書、会計帳簿、領収書、視察報告書の写しをホームページで公開しました。

なお、市役所1階、情報プラザでも閲覧することができます。

ホームページのアクセス方法

①八代市のHPを開き、市議会の部屋をクリックする



②政務調査費をクリック



議会からのお知らせ

議会では、議会改革の取り組みとして、委員会視察旅費、会議に出席する際に支給される費用弁償、議員報酬の減額などを行っております。また、今夏予定されております市議会議員選挙においても、議員定数を現在の34名から2名削減し、32名にいたします。

編集後記

初冬から寒い日が続き、日本列島はいつく日々の中、昨年十二月十六日は衆議院議員の選挙があり、民主党政権は三年三カ月余りで幕を閉じ、同月二十六日には新内閣が発足いたしました。これからの景気、経済対策に期待するところです。

本市でも地方交付税、補助事業にどう影響するか、行政・議会・市民一体となつて多くの課題をクリアしていかなければなりません。市議会といたしましては、今後も市民の安心・安全な暮らしを守るため全力で取り組んでまいり所存です。まだまだ寒くなります。インフルエンザ等には十分気をつけ、健康管理に努めましょう。

八代市議会広報委員会